

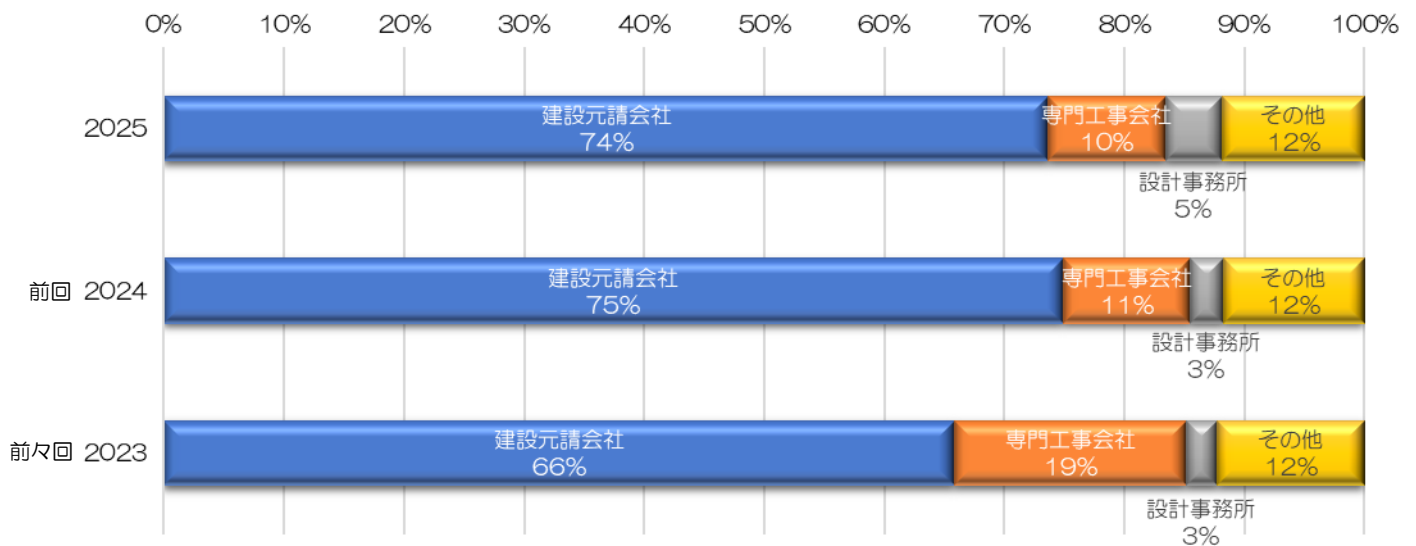
「日建連 BIM セミナー2025」アンケート結果

アンケート回答数：634 回答率：55%

前々回 2023 年度 BIM 部会参加のすべての会社(19 社)による事例発表

前回 2024 年度 各部会メンバーによる討議を中心(第 1 部)/BIM 部会の成果を紹介(第 2 部)

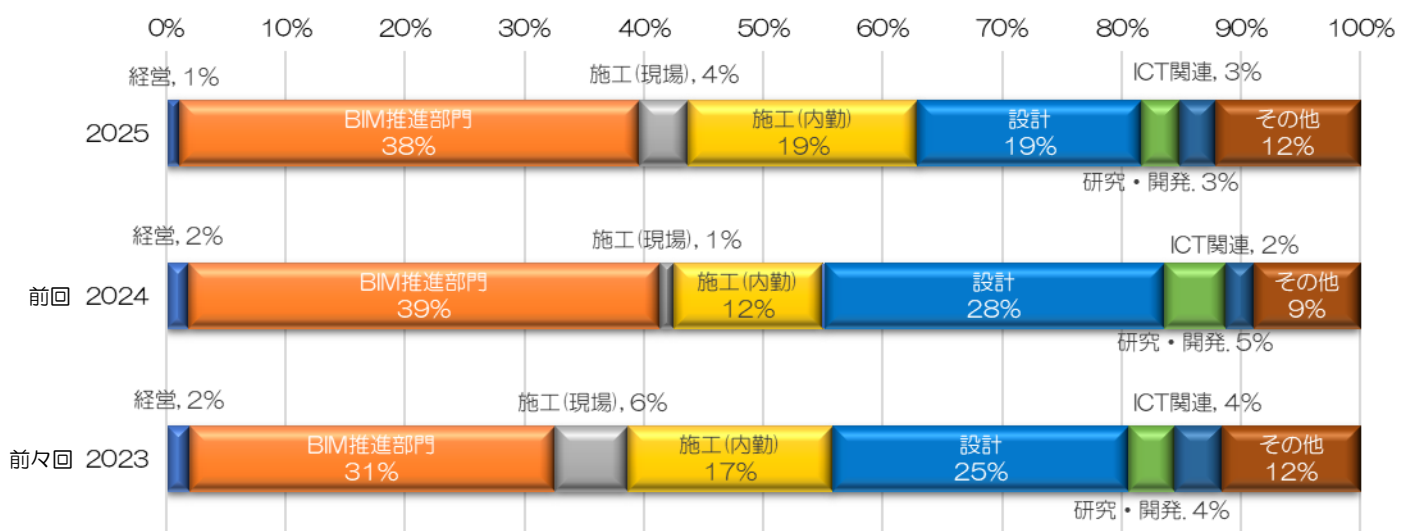
1. 参加者(アンケート提出者)の所属会社について [%]



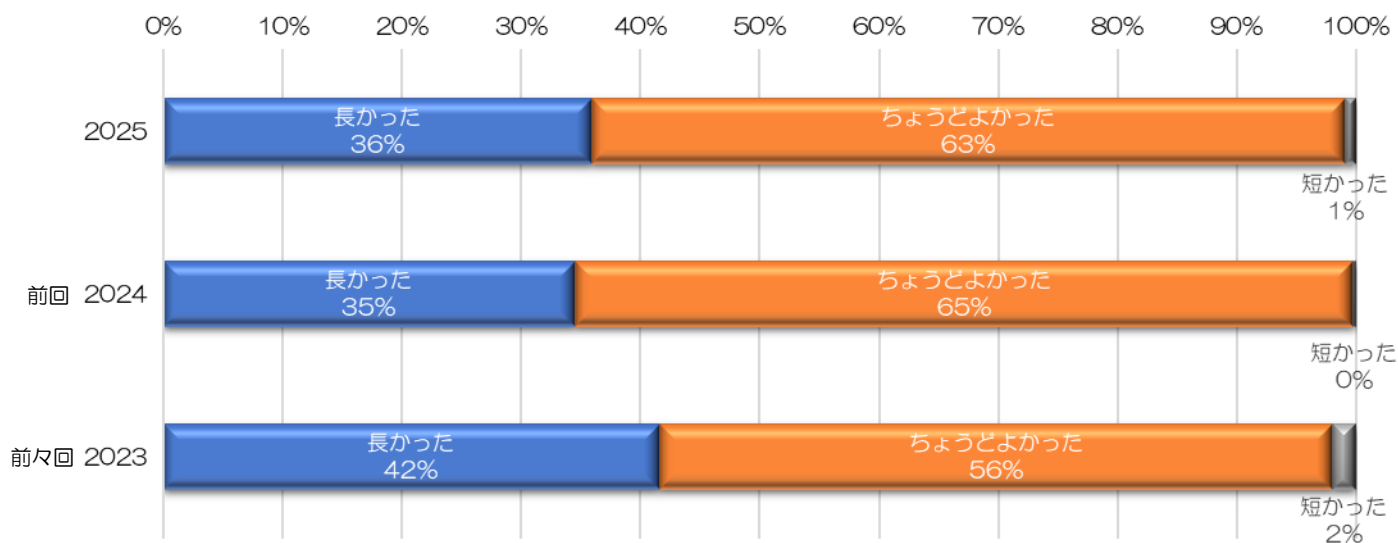
○2025「その他」の内容

- ・官庁・自治体(3%)、ソフトウェアベンダー(1%)、研究・教育機関(1%)、デベロッパー・コンサル(1%)、その他(12%)

2. 参加者(アンケート提出者)の所属部署について [%]



3. 講演時間について [%]



講演時間については、『長かった』36%、『ちょうどよかった』63%となっており、半数以上が講演時間については、概ね好意的との結果となった。

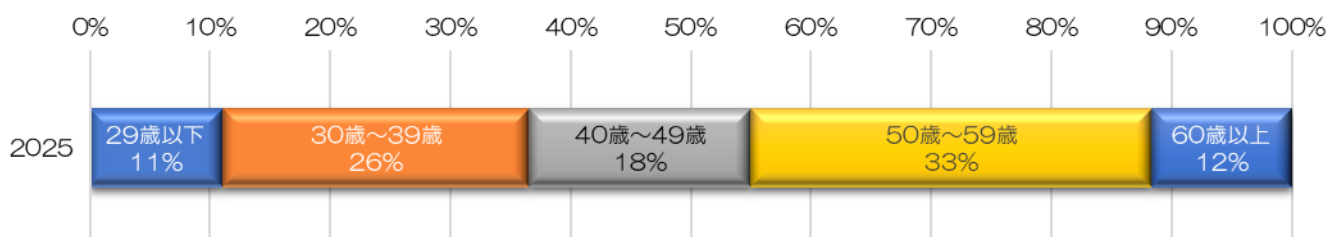
ただし、「後日の配信」を望む意見もあり。

○セミナーに関する意見・感想について

■講演時間について

- ・社内普及の為に今回の動画を期間限定や再度の申し込み後からでも見返せるようにして頂きたい。
- ・長時間のためすべてを視聴することが難しく、アーカイブ動画のご対応を検討いただけますと幸いです。(他3社)
- ・2日間に分けた方がよいのではないのでしょうか。
- ・講演、討議の時間配分が適当であり、視聴しやすかった。

4. 年齢構成について [%]

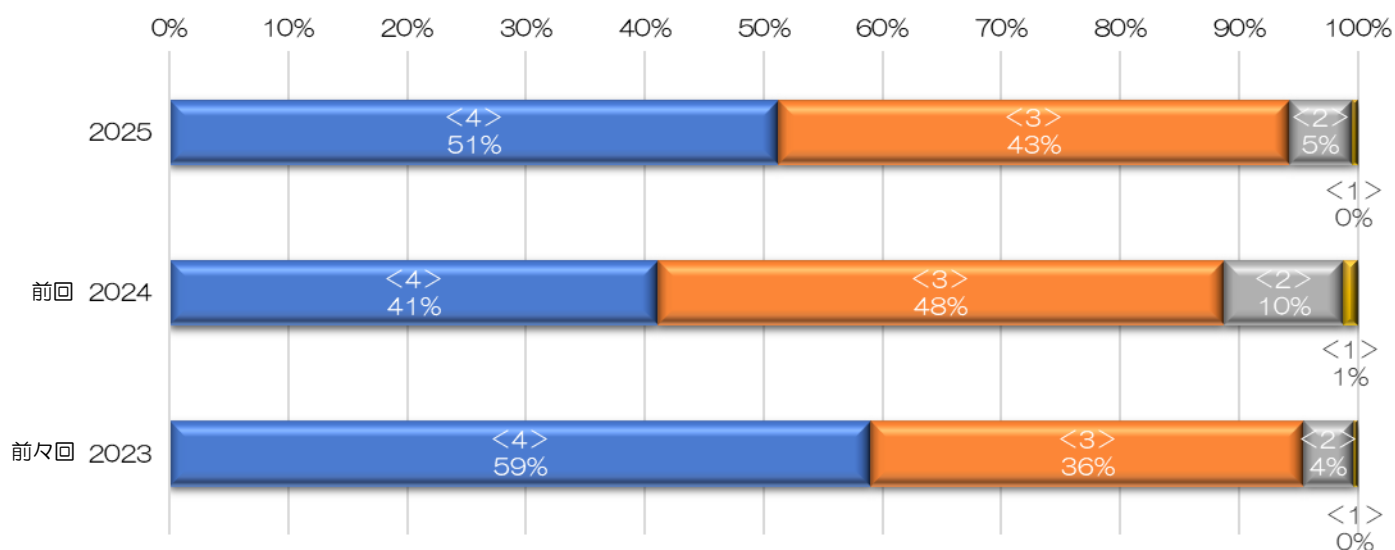


※2023 年度_BIM 部会参加のすべての会社(19 社)による事例発表：設問なし

2024 年度_各部会メンバーによる討議を中心(第 1 部)/BIM 部会の成果を紹介(第 2 部)：設問なし

5. セミナーの参考度について [%]

凡例：参考度（4段階評価）
参考になった ← 4 — 3 — 2 — 1 → 参考にならなかった



○セミナーに関する意見・感想について

■良かったこと

- 様々な取り組み、事例の紹介、発表、また資料のHP掲載があり大変参考になりました。
- 実例を元に定期的にこのような活用事例を共有いただけることは大変意義があることかと思います。
- 専門分野の内容ではなかったですが興味深く拝聴させていただきました。
- 各社さんのBIMへの取り組みを紹介して頂き大変為になりました。
- 万博パビリオン等、通常では見ることのない建築物の実例が多く、興味をもって見られました。
- 足場レンタルの立場でどう関われば現場の生産性向上に貢献できるのか、本日得た情報を活かしていきたい。
- 課題解決の一助になりました。
- BEPやCDE環境などについてまだ何もできてないので、早急に取り組みたいと思いました。
- 業界の動き、規模感も感じますのでまたの開催を楽しみにしています。
- 今回はフェーズごとに分けての紹介であったため非常に良かったです。
- 発表スライドが統一されていたので、各社それぞれの事例を発表していても一定の観点から比較ができるセミナーとなっていたので大変参考になりました。（他1件）
- 業界横断の取り組みで大変参考になる。引き続き活動をお願いしたい。
- 各テーマにおける代表者の質問について、非常に有益な質問をしていただいている印象でした。
- 各社の事例を聞いていて、同じようなことを取り組みながら、躓いたり、苦労したりしているのだなと感じました。
- 他社のBIM事例が気になっていたもので、このセミナーで参考にしたいことや共感することがあって、有意義でした。
- 企業ごとに取り組み方や重点を置いているポイントなど、多岐にわたって様々な考え方があるということを改めて知りました。
- 取り組み初めの時期に問題になった事や、その解決方法等も紹介して頂けると助かります。
- 各社使いやすいBIMソフトでもうまく活用できることが良くわかりました。

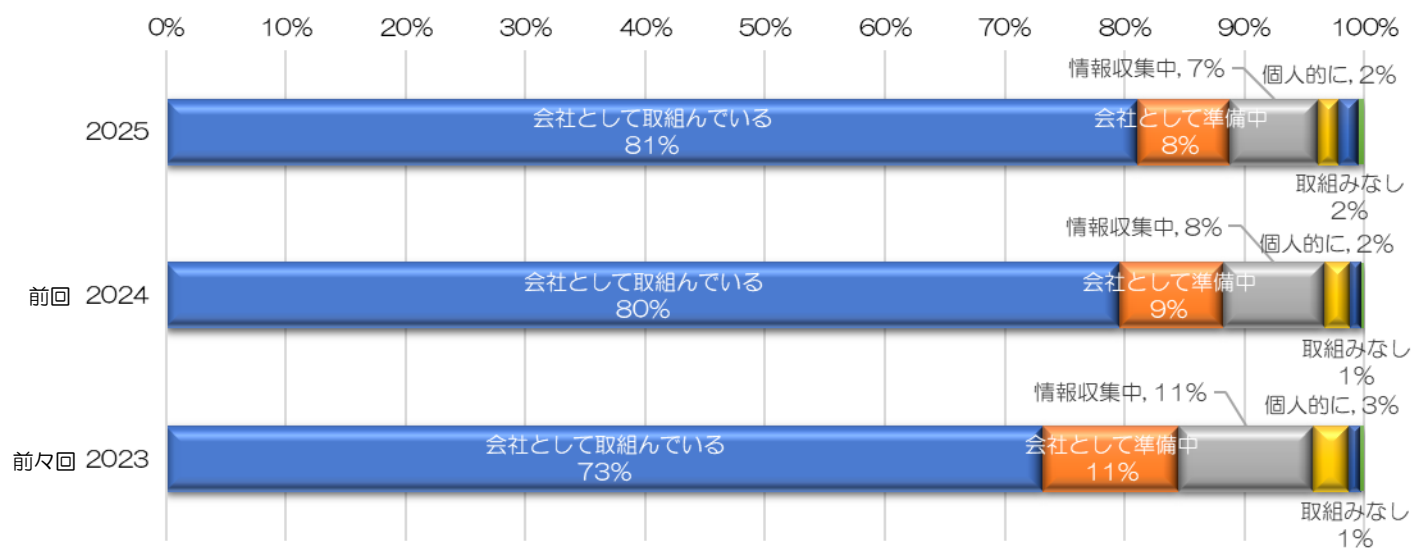
■課題に感じたこと

- もっと設計に対して、モデルや情報の整理などの観点で呼びかけがあった方がいいのではないか。
- どんなソフトがあり何に向いているのかを知りたい。
また、それらのソフトはなぜ設計・施工・電設を一気通貫で一つにできないのか不思議でした。
- BIM 導入を考えてはいますが、中小も含めた建設業全般にもう少し広く浸透すると導入しやすくなると思いました。
- 費用面で中小企業の導入は難しいと感じました。
- 大手の会社の取り組みは分かったし参考にもなったが、中小企業にはマネできない部分が多かった。(他 2 件)
- 製造業から見ると、建設業界の 3D 化は進捗が遅いと感じます。
- 設計 BIM モデルを整備する段階までは来ていると感じます。次のフェーズは作成した BIM モデルに加えて、周辺情報も含めた情報をどのように融合して活用し効率化を目指していくかという段階かと思います。
- BIM 推進には関係各所の理解と合意形成が不可欠だと思うので、社内で推進するにあたっての経験談などうかがえる
と参考になるかと思いました。
- 専門工事会社との BIM 連携ができるように業界全体で取り組むべきだと感じました。
- 設計段階で BIM 案件ではなくても施工段階で BIM を実施するケースもあるため、請負時の BIM 契約を明白にして
頂きたい。(電気設備サブコン)
- 施工図制作のために LOD を上げたために時短になった等の BIM が効率化に寄与した印象はあまり感じなかった。
- FAB の立場として、常日頃より設計情報が施工情報へと合理的に変換できていない課題感を抱きながら建設業界に携
わっております。
- 事例では設計施工、S 造が多かった。RC 造共同住宅の活用事例を聞きたい。
- ルールありきでなく、自由に活用する段階を経てからルール of の取り組みに進む方が現実的であると考えます。
- 内装施工の BIM 活用メリットが今一つ見えてきません。
日建連がより関わることによって数年でガラッと変わることを期待しています。
- BIM 取り組みによる変更ゼロ・手戻りゼロという発表もありましたが、残念ですがそのようなことはないと思われま
す。出来ましたという内容も大切なのですが、これが大変、これが出来なかったという本音を発表してもらいたい。
BIM 過渡期を潜り抜けるには、問題・課題をいっぱい抽出することが大事なかなと思いました。

■その他

- 今後は設計フェーズやデータ連携、昨今の施主要望とその対応の仕方についてお話を聞いてみたいです。
- 他社設計案件の比率、取組み度合いを知りたい。(他 1 社)
- 最終的に納まった事例以外にも、トライ & エラーの状況ももっと教えて頂きたいです。
- 各社の BIM を使ってうまくいった点と失敗した点が一覧表に整理できていると概観できると感じました。
失敗の再発防止策も知りたいと思いました。
- 各社が利用しているソフトなどの情報についても講義後に分かりやすいリストなどがあれば良いのではと感じた。
- 各社で全体の現場で BIM を使用しているのはどのくらいの割合なのか知りたい。
- 今後の希望として、ハウスメーカーや一次下請け会社(鉄骨 FAB)等の BIM に対する取り組みや意見を聞ける場が
あると参考になると感じました。
- 施主目線の意見を汲んで欲しい。施主との協業事例があれば教えて欲しい。
- 具体的な費用対効果が知りたいです。

6. BIM の取組みについて

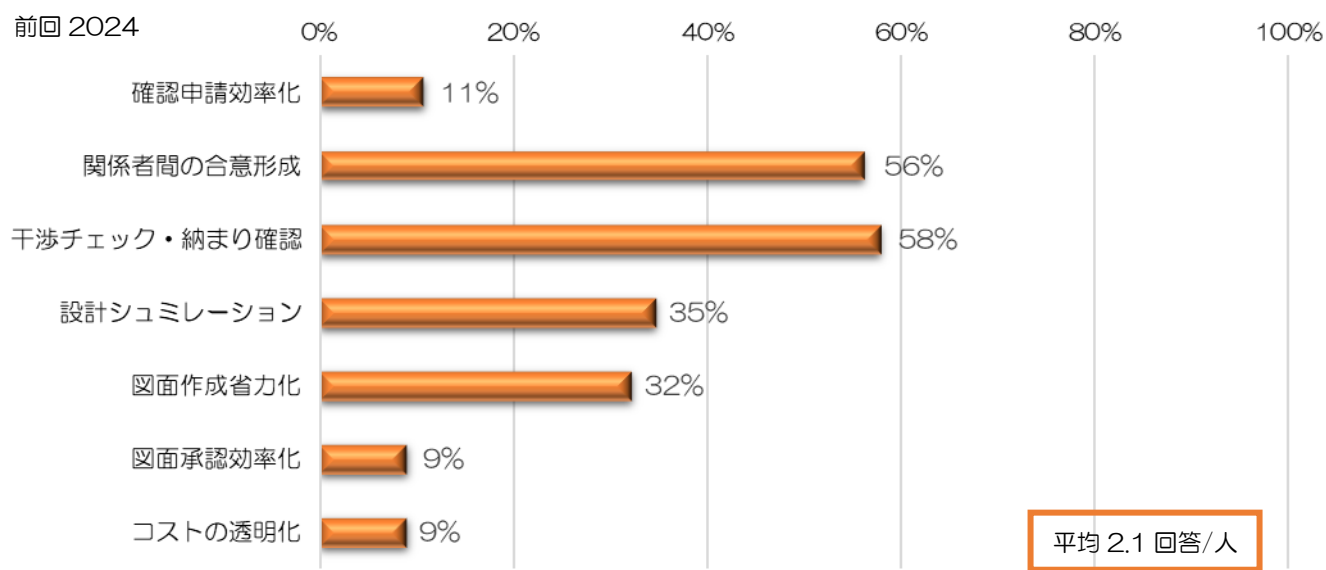
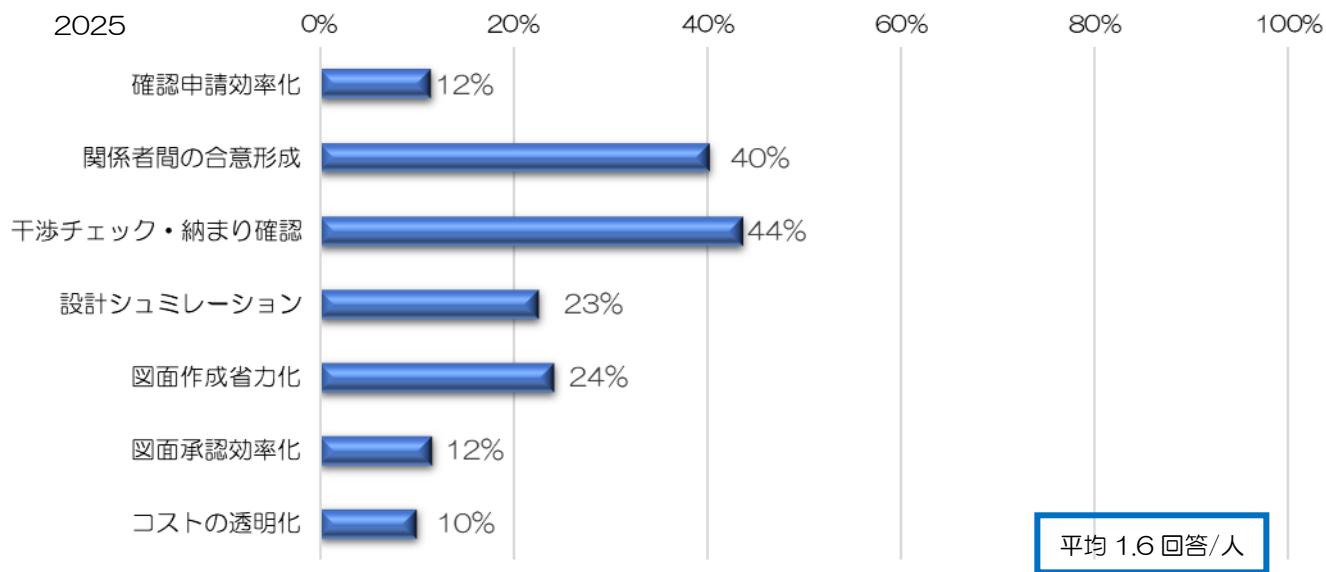


『会社として取り組んでいる』は2024年の80%から81%とほぼ横ばいだが、2023年から2年間で8%増。

『会社として準備中』および『情報収集中』から取組む動きに徐々に移行している。

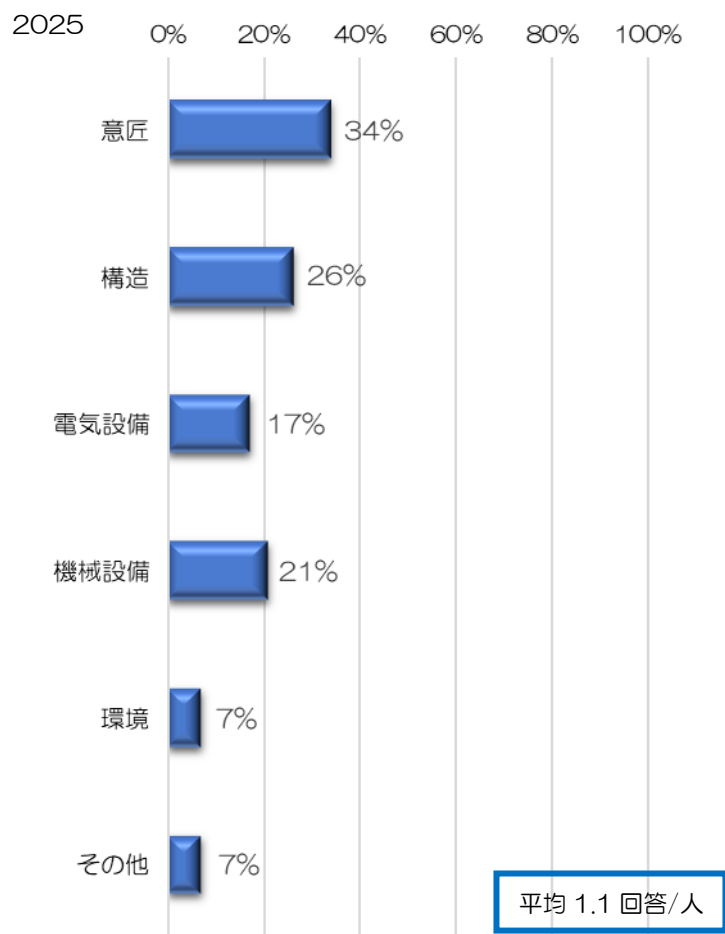
約8割の会社が、BIMに取り組んでいる。

7. 設計 BIM の目的(複数回答)



※2023 年度 BIM 部会参加のすべての会社(19 社)による事例発表：設問なし

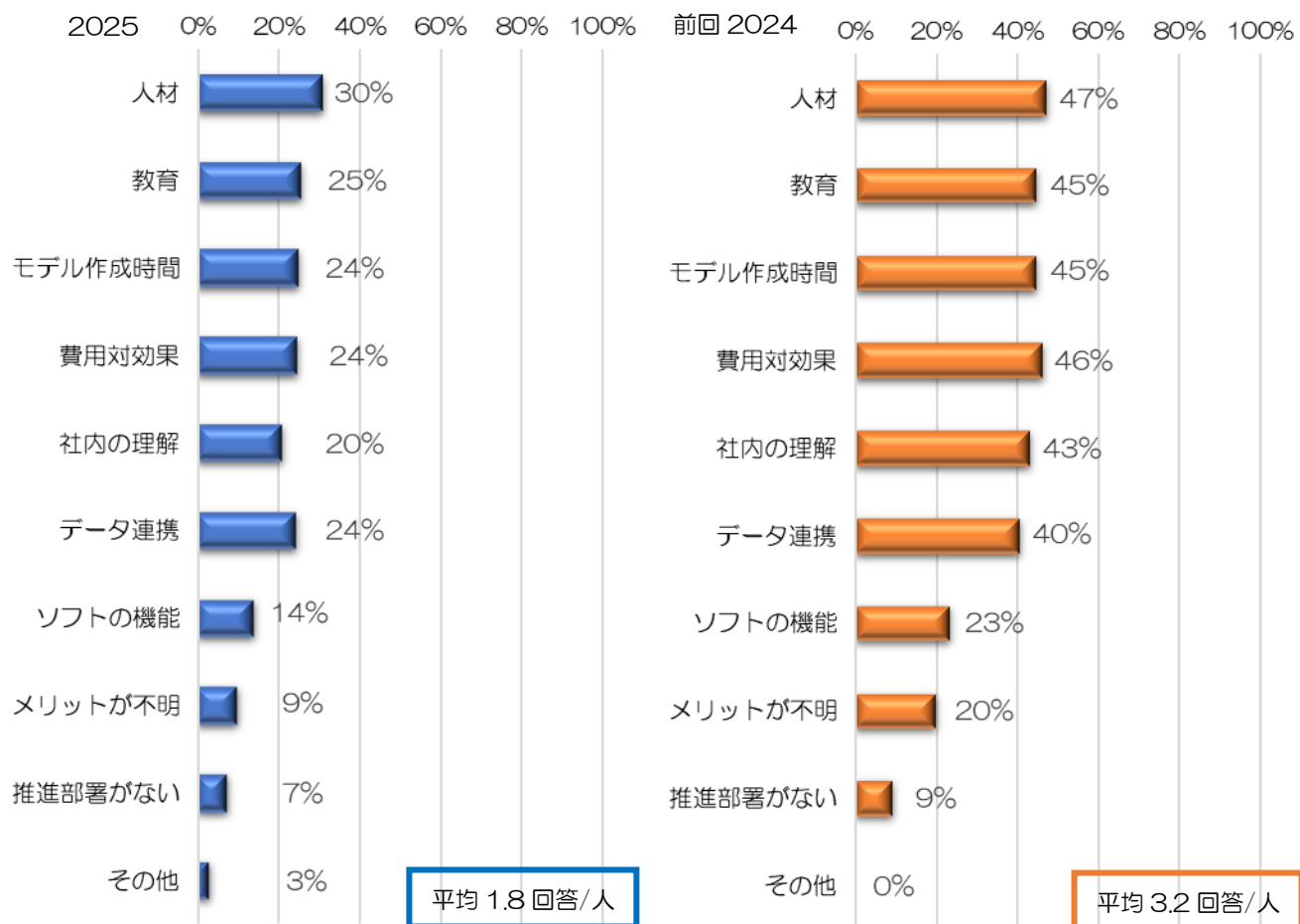
8. 設計 BIM の分野（複数回答）



※2023 年度_BIM 部会参加のすべての会社(19 社)による事例発表：設問なし

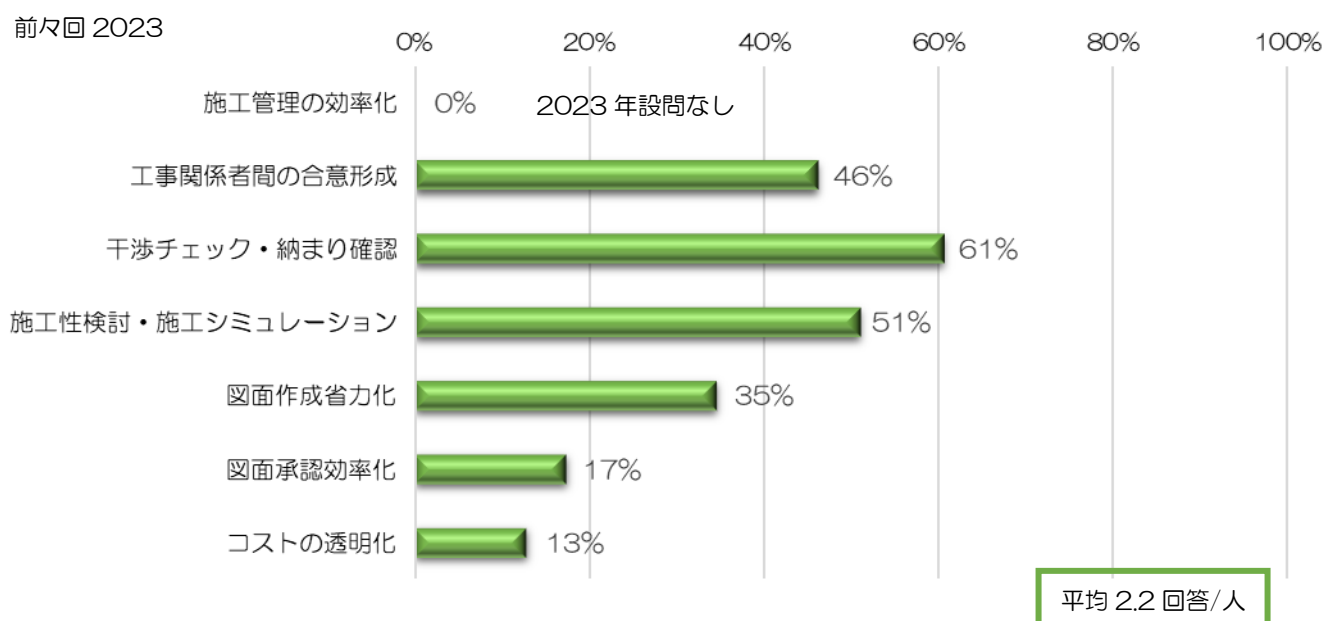
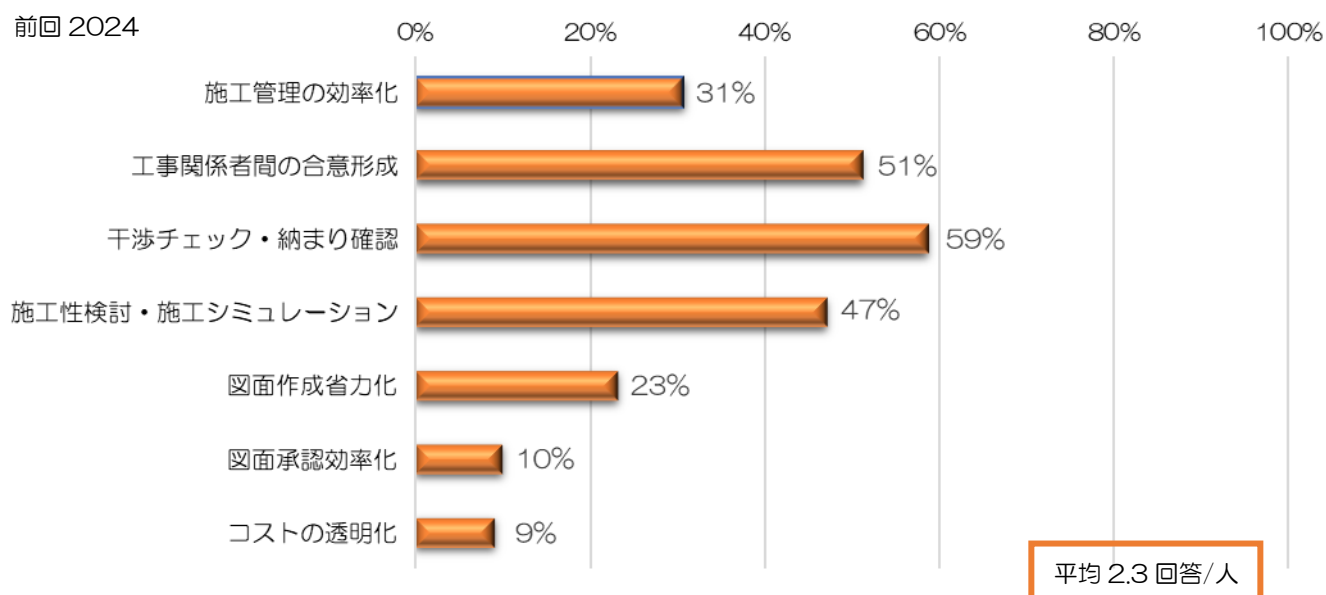
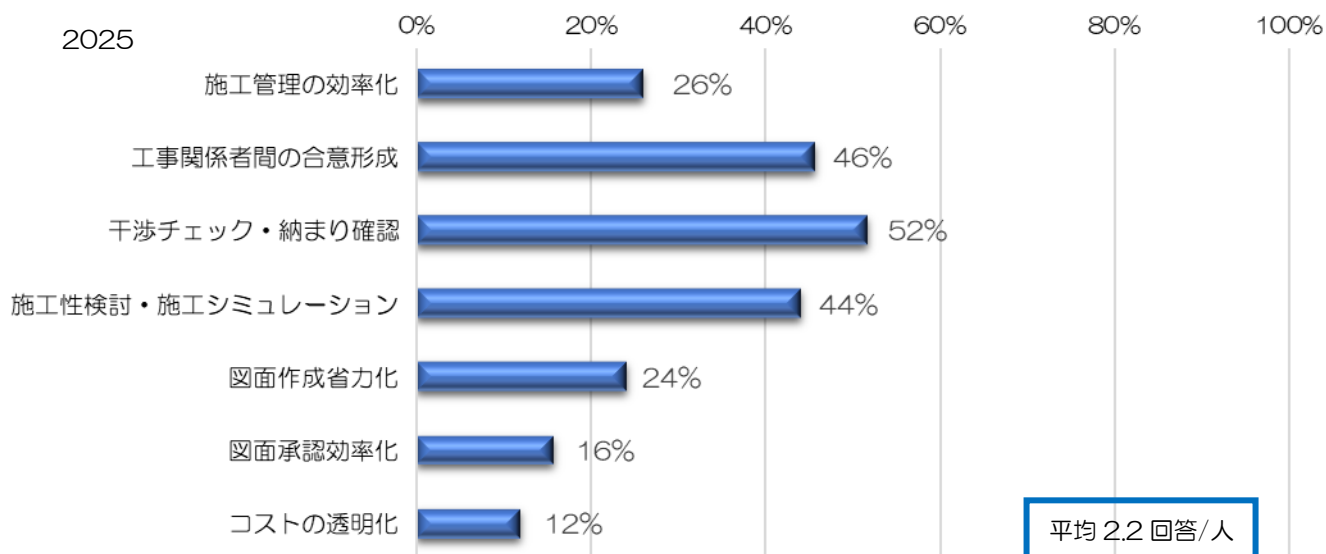
2024 年度_各部会メンバーによる討議を中心(第 1 部)/BIM 部会の成果を紹介(第 2 部)：設問なし

9. 設計 BIM の課題（複数回答）

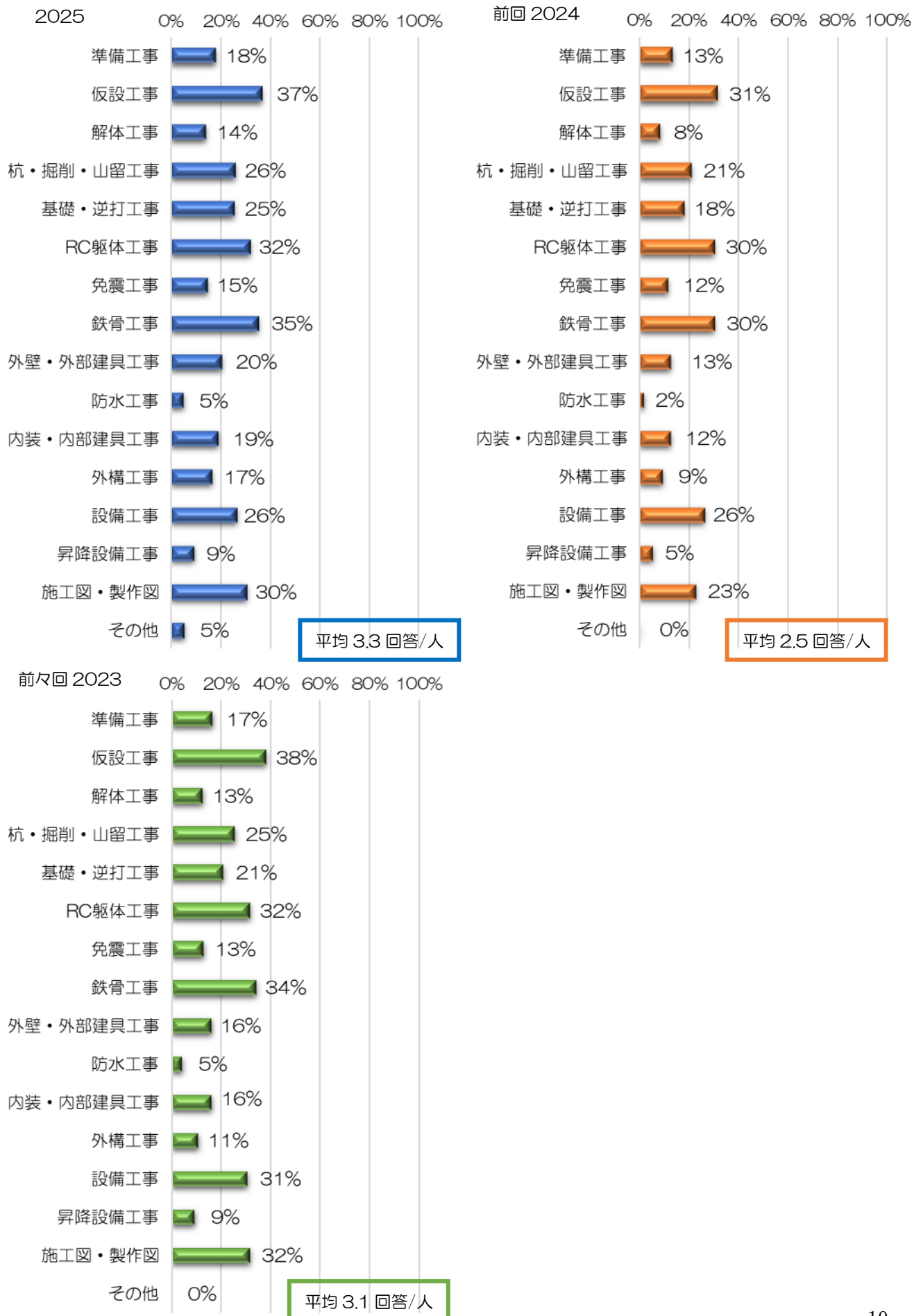


※2023 年度 BIM 部会参加のすべての会社(19 社)による事例発表：設問なし

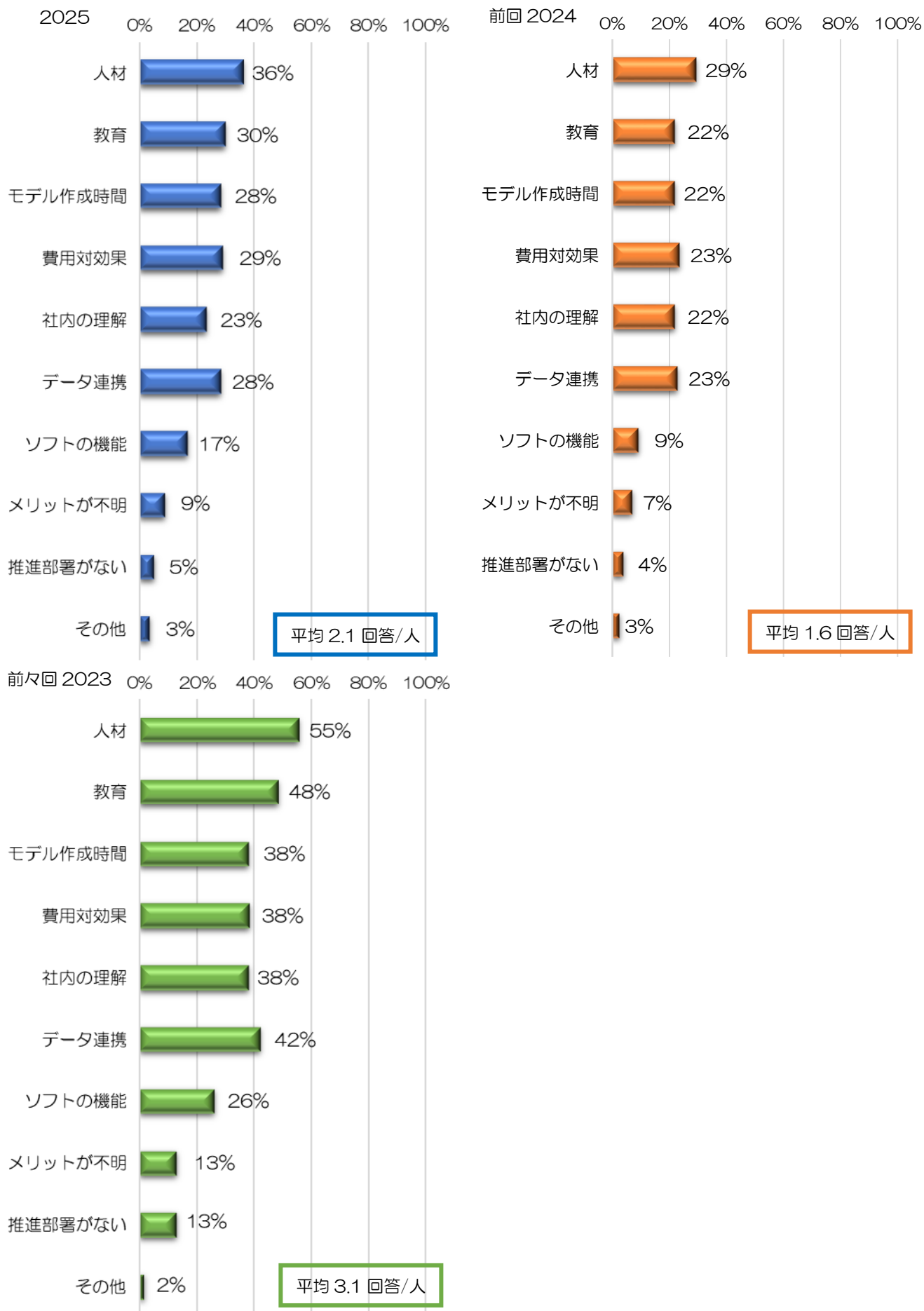
10. 施工 BIM の目的（複数回答）



1.1. 施工 BIM の工種(複数回答)



1 2. 施工 BIM の課題（複数回答）



13. その他、「日建連の BIM に関する活動への意見・感想」「BIM への取り組み推進にあたって日建連に期待すること」等ありましたら、ご自由にご記入ください。

「日建連の BIM に関する活動への意見・感想」

■活用事例について

- ・国交省が検討されているガイドラインの改訂における課題についても触れて頂けると嬉しいです。
- ・官庁向けに BIM 導入についての開催して欲しいです。
- ・2030 年定着の具体的なイメージを今後提示していただけると有難いです。
- ・2025 年から（2027 年全面）確認申請取り組み、審査が開始されていますが、海外（シンガポール）では一貫 BIM から維持管理含めアセットマネジメント、リースへの連携の事例があると思いますが、その事例をアナウンスしていただきたい。
- ・海外と日本との比較で海外はどこまで進んでいるか知りたい。（他 2 件）
- ・設計段階における各部門での BIM 活用についてのセミナーなども開催していただきたいです。
- ・設計事務所（大中小）目線での課題や問題点を知りたいです。（他 1 件）
- ・確認申請に利用した事例があれば紹介して頂きたい。
- ・建築確認・検査に対する BIM 活用事例についての情報発信も希望します。
- ・設計段階の BIM を活用した積算の事例紹介を希望します。
- ・設計変更における増減をリアルタイムで 3D 確認など、積算 BIM も取り上げて頂けると嬉しいです。（他 1 件）
- ・設備・電気の BIM 化の事例集をお願いしたい。（他 2 件）
- ・設備部門の BIM への取り組みが遅れているので、設備に特化したセミナーを希望します。
- ・維持管理(FM)連携の事例集を作成してほしいです。
- ・既存ビルを BIM 化し、維持管理に利用している事例を紹介いただきたいです。
- ・BIM を使った改修工事事例（建築・設備）を教えて欲しいです。
- ・仮設系の BIM 活用も紹介してほしい。
- ・地場・中小企業における BIM の活用事例が知りたいです。（他 5 件）
- ・CDE における情報管理をテーマにいただけると嬉しいです。
- ・BIM の教育セミナーの機会を作っていただきたい。
- ・人材育成にフォーカスをあてた発表も聞きたいと思いました。
- ・施工の BIM 活用だけでなく、各社の設計段階での取り組みや積算連携、施工図化の標準化についての取り組み推進を期待します。また、ロボット施工など建設業界だけでなく他産業とのかかわりなどの指標を示せばと考えます。

■その他

- ・まだまだご苦労されると思いますが、BIM を中心としたデータ連携が当たり前になるまで、引続きよろしくおねがいします。
- ・今後も各社の最先端の知見に触れられるように事例収集されることを要望します。よろしくお願いします。
- ・施工活用はまだ踏み出したばかりの印象で、アセットへの活用については芽も出ていない状況と思いますが、業界全体を引っ張ってほしいと期待しています。
- ・最後のご説明にて、「一部の社が良いではなく、全体最適の視点から取り組んでいくのが重要」という点、大変共感致しました。

「BIM への取組み推進にあたって日建連に期待すること」

■水平展開・標準化について

- 非 BIM 作図の考えをなくすためには基本作図用の無償 BIM ソフトの開発が不可欠。
- 取組み事例を基に BEP、CDE など業界標準の実用的ルールや様式のやり方の標準化を進めていただきたい。
- BIM 導入済企業への厚い補助により、より使いやすくメリットも大きくなり普及につながりますので、国交省への働きかけをお願いします。
- ソフトウェアが建築設計に必要な機能を網羅できていないため外部ソフトウェアに頼らざるを得ないと判断している企業が多いことが手法の統一化の障壁になっていると感じているため、道標を示して頂ければありがたいです。

■その他

- セミナー内（鉄骨）でも説明された、今後は設計者と施工者間、施工者と専門工事会社間で BIM モデル作成合意、製作用省力化に向けての取組むシートは日建連で示してほしい。